

第4回復興町民会議 開催結果概要

1. 開催日時・場所

平成26年7月24日（木）18時～19時10分

開発総合センター 2階 大集会室

2. 会議次第

① 開会

② 議題

(1) 復興計画素案について

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

3. 会議における協議事項等

1) 復興計画素案への意見

- ・復興の基本理念に「被災者の生活、生業の一日も早い復興を図るべき」と追記してほしい。
- ・既存の支援措置の対象にならない被災者への支援策、救済策の検討など、安心感を持てる復興計画としてほしい。
- ・復興計画の期間中の固定資産税の納付を免除してほしい。
- ・具体的な被害の数字や被害額などを記載した被害に概要を掲載してほしい。

2) 復興計画素案への質問

- ・分科会で具体的な内容を話し合い提案したが、復興計画素案にどのように扱われているか。
- ・住宅再建課題に対応したまちづくり事業手法とは、どのような事業を想定しているか。
- ・災害時の電力確保の方策として、どのようなことを想定しているか。
- ・農業、水産業の6次産業化とはどのような意味か。
- ・土砂災害防止法に基づく区域指定とは、どのような規制がかかるのか。
- ・復興計画としてどのくらい具体性が出せるのか。
- ・復興を推進する組織とは、具体的にはどのような組織を想定しているか。町民が参加する組織となるか。
- ・長野県南木曾町の災害を受けて、土砂災害対策の評価や計画変更はあるか。

3) 分科会の開催について

- ・各分科会で復興計画素案の該当する部分について検討し、次回の町民会議で報告することとなった。

第5回復興町民会議 開催結果概要

1. 開催日時・場所

平成26年8月12日（火）18時～18時30分

開発総合センター 2階 大集会室

2. 会議次第

① 開会

② 議題

(1) 大島町復興計画素案について（各分科会報告）

(2) 今後のスケジュールについて

(3) その他

3. 会議における協議事項等

1) 復興計画素案（各分科会報告）への意見

- ・電力確保について、大島町ではどのように対応していくのか。電力事業者との協議は行うか。
- ・子どもたちへの就学支援の対象は、高校生、大学生、専門学校生など明確にする必要がある。

2) 今後のスケジュールについての質問

- ・復興計画策定に向けて9月の町議会の日程と策定委員会の日程について、調整はどうか。
- ・復興計画策定は議決事項か。
- ・復興計画素案のパブリックコメントについて委員が検討する時間はあるか。

第5回復興町民会議 各分科会報告資料

第7回 元町地区復興まちづくり分科会 報告

<大島町復興計画素案への意見等>

○P8 方針①被災者への資金等の支援

1-1-2 子どもたちへの就学支援

対象が児童・生徒となっているが、大学卒業までの支援を明示してほしい

○P9 方針④情報提供と相談体制の確立

1-4-1 総合相談窓口の設置

・総合相談窓口には、横断的な権限を持った責任ある立場の職員を配置すべき

○P22 4.2 復興まちづくりの方針

・大金沢流路改修のスケジュールを明示してほしい

第 8 回 産業・観光復興支援分科会 主な意見

<大島町復興計画素案への意見等>

○P2 『2 復興計画の基本理念・期間・構成について』

被災者の生活やなりわいを一日も早く復興させることを理念として明記すべき。

○P16 今夏の重点的な取組

・大島バスの夏季限定連絡バスは効果が出ている。来年度以降も継続してほしい。

<復興計画推進に向けての意見等>

○P14 方針③水産業の早期再建と振興

3-3-2 水産加工技術の向上と地産地消の拡大

・急速冷凍技術(キャス)の活用が民間で始まっている。定着するように各方面から支援をしてほしい。

○P26 復興の推進体制

・前期・中期・後期の施策は、優先順位を決めて実施していくことになる。来年度 3 月までの事業は、早期に選択して、具体的に取り組んでいく必要があるので、しっかり取り組む体制を検討してほしい。

・今後の事業推進体制には、若い方たちの参加が望ましい。

復興町民会議 防災まちづくり分科会報告

【分科会委員】

分科会長 山田忠敬(公募) 副会長 阪本鏡子(公募)
委員 岩瀬千鶴子(公募) 杉浦羊子(公募) 森田利夫(公募) 中田保(公募) 柳瀬清一(公募)
山本仁(公募) 沖山尉(消防長) 安孫子昌弘(支庁土木課長) 植松豊(消防団総務部長)
高橋千香(町議会議員)

【検討内容と意見・要望】

3 全島にかかわる復興計画

復興の柱4 防災まちづくりの強化 (p.17)

方針① 台風26号に伴う豪雨災害の検証と地域防災計画の改訂

p.17 ◆方針の記述について、災害を列挙するのであれば、火山の噴火などの記述もあったほうがよいのではないかと。p.20 ◆主な施策の「4-4-4 災害危険や状況の変化に対応した避難計画の改訂」も同様である。

方針② 災害情報の連絡体制の再構築

p.17 ◆方針の記述について、災害情報に関して町から住民に対して発信するものしか記述されていない。住民からの情報を共有するシステムについても記述すべきではないかと。

p.20 ◆主な施策の「4-2-2 町民への情報伝達手段の整備」について、ホームページという決まったものが掲載されているというイメージであり、ツイッター等とは違うものになる。そのため、ここはインターネットとしたほうがニュアンスが良いのではないかと。

方針⑤ 避難施設の強化等

p.20 ◆主な施策の「4-5-7 避難施設の強化」が後期の施策となっているが、どう「安全に」避難するかというところは早期に行うべきであり、前期に入れるべきではないかと。

方針⑥ 災害教訓の伝承と地域防災力の向上

p.21 ◆主な施策の「4-6-3 災害の記録の作成」に、「子供たちへの防災教育のため、防災副読本の作成を進める。」を追記してはどうか。

p.21 ◆主な施策の「4-6-6 災害教訓の伝承」で編纂するのは記録誌ではなく「副読本」と銘打って、今後起きうる事態についてどう対応していくのかということを整理し伝えていくべきではないかと。

p.21 ◆主な施策の「4-6-3、4-6-6」災害・復興の記録誌は、これはこれで残しておくものだが、子供たちの防災教育の副読本は別途作成する必要がある。

p.21 ◆主な施策の「4-6-3、4-6-6」災害・復興の記録誌とあるが、映像でも残したほうがいい。

p.21 ◆主な施策の「4-6-4 災害教訓を伝える資料整備」に追記で、p.15 復興の柱3 産業・観光復興支援 方針④観光振興の推進 ◆主な施策の「3-4-8 新たな観光資源の整備と活用」のひとつめ『・元町地区の復興まちづくりと連携して、災害の記憶をとどめる施設の整備、災害・防災教育の場としての活用を検討します。』を再掲してはどうか。